

那覇地区ミニバスケットボール連盟
大会開催における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン 那覇モデル

(第1版) 2020年6月10日 作成

(第2版) 2020年6月25日 修正

(第3版) 2020年7月1日 修正

1. はじめに

本ガイドラインは、大会開催において、感染拡大のリスクを極力排除する環境構築を基本方針とすることで選手・チーム関係者・審判・運営スタッフ及びそれらの方の家族の健康・安全を最優先とし、政府や上位団体のガイドラインに基づき策定したものです。

2. 大会開催について

大会開催にあたっては、下記が確認できた場合に開催します。ただし、大会期間中に沖縄県内にて感染が広がる危険性があると判断した場合は大会を中止いたします。

- (1) 参加各チームはコンディションが十分に整っており、日常の活動においても「新しい生活様式」を徹底していること。
- (2) 参加各チームは「感染対策責任者」を設置し、すべての来場者の健康状態をチェックシート等で把握・確認できる体制ができていること。
- (3) 参加選手については、保護者が参加を承諾していること。
- (4) 会場において、十分な感染防止対策が講じられていること。

3. 参加各チームにおける感染防止対策について

- (1) 「感染対策責任者」の設置とチェックシートについて

選手・スタッフ・保護者及びチーム関係来場者(祖父母・未就学児等も含む)は、大会前2週間における起床時の検温及び下記項目の健康観察を「健康チェック」各チーム用にて記録しチーム内で保管・管理します。大会当日は、「感染対策責任者」を設置し、大会当日朝のミーティング時に本部席に「健康チェックシート(那覇地区連盟提出用)」に当日の検温と必要事項を記入し提出します。

※ 日本バスケットボール協会：健康チェックシート(参加チーム用) ※チーム保管用
<http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/11-For-Team.pdf>

※ 那覇地区ミニバスケットボール連盟：健康チェックシート(那覇地区連盟提出用)
<http://78miniren.com/docs/>

【健康状態チェック項目】

- ◇ 平熱を超える発熱がない。
- ◇ 咳・喉の痛みなどの風邪症状がない。
- ◇ だるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がない。
- ◇ 嗅覚や味覚の異常がない。
- ◇ **体が重く感じる、疲れやすい等がない。**
- ◇ **新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がない。**
- ◇ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいない。
- ◇ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がない。

(2) マスクの着用について

- ◇ 来場者は、全員、原則としてマスクを着用します。
- ◇ ただし、試合前の練習時及び試合に出場する選手及び審判はマスクを外します。
- ◇ 外したマスクは清潔に保つよう心掛けます。
- ◇ チーム関係者及び TO・コミッショナーは試合中もマスクを着用します。
- ◇ 熱中症対策のため、マスク着用時も水分補給をこまめに行います。

(3) 手洗い・うがい・消毒について

- ◇ こまめな手洗い、アルコール等の消毒液による手指消毒を行います。
- ◇ 消毒液等は各チームで必ず準備します。

(4) 器具等の共用について

- ◇ 水筒・スクイーズボトルを共用しない。
- ◇ タオルを共用しない。

(5) 期間中の行動記録について

感染対策責任者は、控え場所での待機中も、マスクの着用徹底・ソーシャルディスタンス確保の徹底等の感染対策を講じ、また、感染者発生発覚の際の濃厚接触特定のため、可能な限り行動記録を把握するよう努めます。会場入場後に発熱症状・体調不良者が出た場合は速やかに帰宅させ、大会本部に報告します。

4. 試合での感染防止対策について

- (1) 試合前後または試合中に握手・ハイタッチ等の接触は避けます。
- (2) 試合前の声出しや円陣は行わない。
- (3) 大きな声を出しての指示やアピール等を行わない。
- (4) 手で顔や髪を触らないように心がけます。また、靴の裏を手で拭かないようにします。
- (5) 汗はタオルで拭き取ります。

5. 会場施設及び大会運用での感染防止対策について

(1) 会場あたりの参加チーム数について

会場校を増やすことで1会場あたりの参加チーム数を原則として例年の半分程度とします。

(2) 入場人数制限について

大会会場（体育館）に入場できる人数を下記の通り制限します。

- ☆ ベンリ入り選手：15名以内（登録選手のみ）
- ☆ ベンリ入りチーム関係者：4名以内（監督・Aコーチ・マネージャー・チーム責任者）
- ☆ 送迎・観戦の保護者・登録外選手等：若干名（原則として1チーム10名以内とします。会場によって制限人数に変更がある場合はホームページにて告知します。）

(3) 入場時間制限について

会場入場においては、閉門時間を設定し、閉門時間以降の途中入場を認めません。

(4) 換気について

常時窓を開けて換気を行います。ただし、雨天時はハーフタイム及び試合間に行います。

(5) 観戦について

ベンチ裏などフロア内での観戦はできません。ギャラリーでの観戦はソーシャルディスタンスを心がけ、大きな声を出しての観戦はしないよう心がけます。また、体育館フロア外（出入口付近・窓の外等）からの観戦についても同様とし、会場責任者の指示に従います。

(6) 試合間の入退場について

試合が終了した選手は速やかに退場させ、使用したチームスタッフでベンチの消毒を行います。その他の器具（TO・得点板等）及びギャラリーの消毒は会場校の担当が行い、すべて終了してから次の試合の選手及びチーム関係者が入場します。そのため、試合間を20分程度設けます。入退場のタイミング、消毒の担当については会場責任者の指示に従います。

6. 審判員について

大会開催2週間前より「健康チェックシート(審判自己管理用)」にて体調管理・記録を行い、大会当日朝のミーティング時に本部席に「健康チェックシート(審判提出用)」を提出します。

- ※ 日本バスケットボール協会：健康チェックシート（審判自己管理用）
<http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/10-For-Referee.pdf>
- ※ 日本バスケットボール協会：健康チェックシート（審判提出用）
<http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/09-Submission.pdf>

7. 大会終了後について

- (1) 万が一感染が発生した場合に備え、各チームのチェックシートについては、連盟にて1か月間保管いたします。
- (2) 大会終了後も、チームの選手・スタッフ・保護者及びチーム関係来場者の健康観察を継続し、チームの来場者及びその家族が新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、ブロック長を通じて連盟に速やかに濃厚接触者の有無等について報告します。
- (3) 試合の動画を撮影して、観戦できなかった保護者等で共有する場合は、SNS等インターネット上にアップロードしないようご注意ください。

8. 本ガイドラインの改定について

本ガイドラインは、政府の方針や上位団体の示すガイドラインに変更があった場合や本連盟が必要と判断した場合等、状況に応じて見直し改定を行うものとします。

9. 参考とした資料

- (1) 文部科学省：学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル
https://www.mext.go.jp/content/20200522_mxt_kouhou02_mext_00029_01.pdf
- (2) 日本バスケットボール協会：バスケットボール活動再開に向けたガイドライン
http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/JBA_Guaideine_20200608.pdf
- (3) 日本スポーツ協会：スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン
<https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/jspo/guideline.pdf>
- (4) 日本バスケットボール学会：新型コロナウイルス感染症予防チェックリスト
<https://www.youtube.com/watch?v=POwdc9chWyE>
- (5) 沖縄県：新型コロナウイルス感染症に係る沖縄県主催イベント等実施ガイドライン
<https://www.pref.okinawa.jp/site/chijiko/koho/documents/gaidorain.pdf>
- (6) 日本バスケットボール協会：コンディション記録用紙
<http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/01-Condition.pdf>
- (7) 日本バスケットボール協会：審判関係大会開催用チェックリスト例
<http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/08-Competition-Check-for-Referee.pdf>